スタッフ募集



新久喜総合病院

新久喜総合病院は、24時間365日「断らない病院」として、地域に必要とされる2次救急に対応し、高度な入院機能を特徴として、急病人や重傷者を治療する医療機関です。

また、災害拠点病院としての機能を有しており、災害派遣チーム（DMAT）及び埼玉県特別機動援助隊（埼玉SMART）として活動しています。

さらに地域医療支援病院として、地域医療のより質の高い医療を提供できるよう病診連携・病病連携・介護連携にも力を入れております。

病院概要

開　　設：2016年4月1日
診 療 科 目：内科/消化器内科/循環器内科/呼吸器内科/代謝・糖尿病内科/腎臓内科/脳神経内科/外科/呼吸器外科/心臓血管外科/消化器外科/乳腺外科/小児外科
肛門外科/整形外科/脳神経外科/形成外科/リウマチ科/皮膚科/泌尿器科/婦人科/眼科/耳鼻咽喉科/リハビリテーション科/放射線科/麻酔科/救急科/病理診断科
病　　床　数：391床　急性期病棟：259床　ICU：18床　HCU：16床　回復期リハビリテーション病棟：98床
看 護 基 準：急性期病棟：7対1　ICU：2対1　HCU：4対1　回復期リハビリテーション病棟：13対1
救急搬入患者数：月約500件
手 術 件 数：月約300件

募集職種　看護師・准看護師・看護助手・薬剤師・検査技師・放射線技師・臨床工学技士・社会福祉士・理学療法士
作業療法士・言語聴覚士　※詳細はホームページをご確認下さい。http://shinkuki-hp.jp

■所在地　埼玉県久喜市上早見418-1　　■お問い合わせ先　TEL 0480-26-0033



編集後記

梅の蕾もふくらみはじめ、春を感じる季節となりました。

皆様が来院された際に暖かく過ごしていただけるよう、玄関ホールを改装いたしました。

まだ寒い日々が続きますが、風邪など召されませんようご自愛ください。

健康管理センター　森　健

新久喜総合病院 広報誌

ともに vol. 16
～患者様と共に、地域の皆様と共に、職員と共に～

社会医療法人社団 埼玉巨樹の会
新久喜総合病院
〒346-8530 埼玉県久喜市上早見418-1
https://shinkuki-hp.jp
TEL 0480-26-0033　FAX 0480-44-8026



お車の場合
県道3号、久喜市上早見の交差点を菖蒲方面に曲がり約250m（久喜ICより約3分）

電車の場合
JR宇都宮線・東武伊勢崎線 久喜駅下車、徒歩約30分

バスの場合
［朝日バス］久喜駅西口から約10分
▶久西01　久喜駅西口～新久喜総合病院前～菖蒲仲橋
▶久西02　久喜駅西口～新久喜総合病院（玄関）～菖蒲仲橋
［久喜市市内循環バス］
▶除堀・所久喜循環
▶六万部・北中曽根循環

発行日：令和4年2月1日　　担当者：地域医療支援センター 稲葉 遥海

社会医療法人社団 埼玉巨樹の会 新久喜総合病院

ともに vol. 16

～患者様と共に、地域の皆様と共に、職員と共に～

新年の院長あいさつ
ゆりカウンターのご紹介
ダビンチ導入
ハイブリッド手術室始動

ダビンチ導入



ハイブリッド手術室始動





新年院長ごあいさつ

２０２２年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

昨年は一昨年から始まった新型コロナウイルスとの戦いに明け暮れ、ワクチン普及前の時期には一時診療を制限せざるを得ない事態に陥り、みなさまには大変ご迷惑をおかけいたしました。幸い職員のカを結集し短期間で復旧することができ、以来コロナ患者さんの診療とともに一般診療を縮小することなく続けてまいりました。これもひとえにみなさまに来院時の体温チェック、マスク着用、手指消毒を徹底していただき、また入院前のＰＣＲ検査、ＣＴを一律に受けていただき、さらに面会制限にもご協力いただいた賜物と深く感謝申し上げます。年が明けてオミクロン株から第６波が押し寄せてきておりますが、昨年学んだことを生かして再び院内感染を起こすことなく、救急・一般診療を滞らせなく運営して参りたいと思います。

昨年４月にＩＣＵやリハビリ室からなる新病棟が開設、また暮れから手術室、外来化学療法室が増設・移転することができ、手狭な診療空間にも少しは余裕ができました。本年は泌尿器科のロボット支援手術、心臓血管外科・循環器内科の低侵襲手術をはじめとして、さらに高度な医療も充実させ、また日常の診療においてみなさまに少しでも心地よく治療を受けていただけるよう職員一同力と心を合わせて地域医療の発展のために研鑽を怠ることなく勤めてまいります。ご意見、ご要望、ご指導をいただければ幸いに存じます。



社会医療法人社団 埼玉巨樹の会
新久喜総合病院

病院長　志田（しだ）　晴彦（はるひこ）

ゆりカウンターのご紹介

11月29日より、新しく「ゆりカウンター」の運用が開始されました。

診療科 ｜ 外科・呼吸器外科・消化器センター・婦人科

総合受付もしくは再来受付機にて受付後、
外来基本カードを2階ゆりカウンターへお持ちください。



▲ 婦人科外来



▲ 外科外来



▲ 婦人科診察室



▲ 外科診察室

化学療法室がゆりカウンター内へと移設されました。





スタッフステーションを中央に配置。
患者様の様子をスタッフが常に見渡すことが出来ます。





各ベッド・リクライニングシートは壁で区切られており、リラックスして治療が受けられます。

患者様にとっての利点

◆傷口が小さい
内視鏡やロボットアームを挿入する為、5～12mmの傷で済みます（術式によって異なります）。
手術によっては摘出臓器を取り出す為に傷を延長する必要があります。

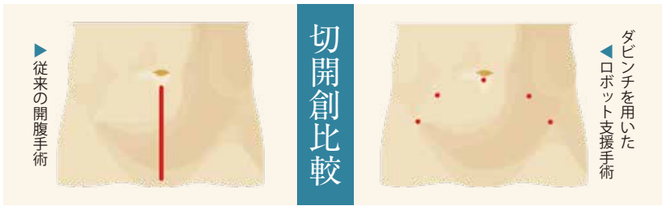
◆術中の出血が少ない
ロボットによる精密な操作により、開腹手術と比較して術中出血が少なく済みます。前立腺全摘除術は比較的出血の多い手術でしたが、ロボット支援手術の導入により術中に輸血が行われた例はほとんどありません。

◆正確な患部の切除
拡大視野で精密な切除が可能である為、腫瘍のより正確な切除が可能と言われています。

◆機能の温存が向上
ロボットアームの正確で細やかな動きによって体の機能を温存される手術が期待できます。前立腺全摘除術では、開腹手術に比べて尿失禁や勃起機能の回復が早くなることが報告されています。

◆術後合併症のリスクが低い
創部の感染が少なく、腸閉塞などの合併症発生率も低い傾向にあります。

◆術後の疼痛が少なく、回復も早い
傷が小さい為、傷の痛みは少なく、術後の回復は早い傾向にあります。



泌尿器科



泌尿器科部長
相川 健（あいかわ けん）
・泌尿器科指導医
・泌尿器科専門医
・難病指定医



泌尿器科医長
今荘 智恵子（いまじょう ちえこ）
・泌尿器科指導医
・泌尿器科専門医

レオナルド・ダ・ヴィンチにちなんで命名された医療ロボットは、手術治療に大きな技術革新をもたらしました。医師は、開腹することなく、患部を画像により立体的に観察しながら、遠隔操作で手術を進めるという画期的な手術法です。

2000年の始動以来、世界では既に30万例を超える治療実績があり、より効果と安全性の高い手術へと、進歩し続けています。

da/Vinci（日本名：ダビンチ）が日本に取り入れられて10年を超え、現在は国内で約400台が稼働しています。

ロボット手術は、操作の手振れが少なく、視野を5-15倍に調整できる特徴をもっており、術者はストレスなく、細部まで正確な処置ができるようになりました。

この特徴を最も活かせるのが、前立腺癌治療で、現在ではロボット手術が標準治療となりつつあります。
開腹手術や腹腔鏡手術と比べ、癌の取り残しや出血が少なく、術後の痛みや尿失禁も軽減されています。

我々は、今後も増え続ける前立腺癌に対して、地域の拠点病院として、患者様の命を守る使命を果たしたいと考えております。

泌尿器科医長　今荘　智恵子

DaVinci

ダビンチ

より精密な前立腺摘出術を可能にする最新のダビンチを用いたロボット支援手術が始まりました。

ダビンチサージカルシステムの特徴

立体的な3Dの手術画像を提供することで医師は、患者様の体内を覗き込み、手を入れて操作をしているような視野を確保しながら手術を行うことが可能です。医師が3本のロボットアームを操作することで、精密な手術を行うことができます。



ペイシェントカート Patient Cart

患者様に接続する機器です。
4本のアームを持ち、1本には3次元カメラを接続し、残りの3本のアームには術者が操作するロボットアームを接続しております。



ビジョンカート Vision Cart

ダビンチの中枢となる機器です。ペイシェントカートから送られてくる画像からハイビジョン3D画像を作成します。最大14倍までの拡大ズームが可能です。



サージョンコンソール Surgeon Console

術者が操作する機器です。術者はハイビジョン3D画像を見ながら自分でカメラを操作し、適切な手術部位を適切なズームで映し出すことができます。



Hybrid OR

ハイブリッド手術室始動！

この度、令和4年1月より
当院にハイブリッド手術室が開設しました。
最新鋭の手術室の導入により皆様により一層
高度な医療をご提供できるようになりました。



GE Healthcare社のAllia IGS7
ORは当院が日本初導入。

Point

室内が広々としているので様々な設備を使用可能です。透視装置は自走式、
モニターは天吊り式を採用しているので使わないときは除けておけます。

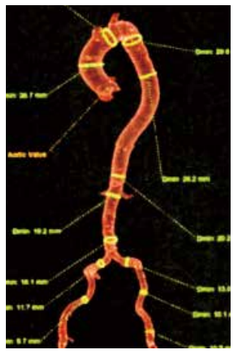
ハイブリッド手術室とは？

ハイブリッド手術室とは、外科手術などに用いられる従来の手術台に、カテーテル治療に用いられる血管X線装置を組み合わせた手術室です。これにより、今までは別々に行っていた手術を安全かつ迅速に一度に行えます。また、それぞれの手術室の機能が取り入れられており、高度な手術に対応できます。

主に心臓血管外科の手術に用いられますが、もちろんその他の科の手術も可能です。



▲X線透視装置と手術室の機能を兼ね備えた手術室です。







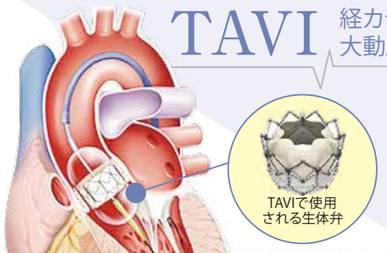
▲カテーテル室のように様々な処理画像を用いて手術が可能です。

操作室



▲こちらの部屋でスタッフが医師の指示のもと装置を操作します。

TAVI 経カテーテル的大動脈弁置換術



Transcatheter
Aortic
Valve
Implantation

この度、ハイブリット手術室の導入に伴い、TAVI（経カテーテル的大動脈弁置換術）を検討しております。
TAVIとは重症の大動脈弁狭窄症に対する新しい治療法です。太ももの付け根などの血管からカテーテルを使って大動脈弁に人工弁を留置する手法です。

今まで、この病気を手術で治療する場合、開胸し人工心肺で一時的に心臓を止める手技が必要であり、そのため体に大きな負担をかけてしまい長期の入院が必要な現状でした。

この度、当院で可能になったTAVIはカテーテルを用いる事により、開胸をせず人工心肺も使わず手術が行えるため体にかかる負担も小さく短期間の入院で治療が可能です。

大動脈弁狭窄症とは？

大動脈弁が動脈硬化により開口部が狭くなってしう病気です。

息切れなどの症状が出て重症化すると心不全を引き起こす可能性があります。



心臓血管外科

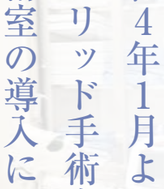
上級指導官 富永（とみなが） 隆治（りゅうじ）

日本胸部外科学会認定医・指導医
日本外科学会認定医
日本外科学会専門医・指導医
日本循環器学会専門医
3学会構成心臓血管外科専門医
3学会構成心臓血管外科修練責任者
3学会構成心臓血管外科修練指導者
日本移植学会移植認定医
植込型補助人工心臓実施医



部長 佐賀（さが） 俊文（としふみ）

日本外科学会認定外科専門医
日本心臓血管外科学会専門医
日本脈管学会脈管専門医
血管内治療認定医
腹部ステントグラフト指導医
胸部ステントグラフト指導医
下肢静脈瘤血管内焼灼術指導医
弾性ストッキング・圧迫療法コンダクター
浅大腿動脈ステントグラフト実施医



当院は今年の春で開院5年を迎えます。開院後、各科の手術数は増加の一途をたどっており、また、術式も多岐に渡るようになりました。今回、導入されたハイブリット手術室のシステムは、様々な用途を可能な限り考え、常に最善、最適な治療を患者様に行うことが出来るように設計されました。治療のクオリティー向上のみでなく、ハイブリット手術室でしか行う事が出来ないカテーテルと外科的治療を複合した手術が可能となりました。
TAVI（経カテーテル的大動脈弁置換術）など、今まで以上に複雑で高度な治療も検討しております。
大学病院にも劣らないハイブリット手術室によって、更なる患者様の健康に寄与することができるよう、我々も日常診療に精進して参ります。

心臓血管外科部長　佐賀俊文